

三鷹市立第四小学校では、学校、地域が一体となって共に学び共に育ち共に生きることを目指して平成11年の秋から、「夢育の学び舎」構想をスタートさせました。この「夢育」の取組は、地域の人々がその特技、知識、経験を活かして子どもたちに「総合的な学習の時間」で授業をする「CT」(コミュニティティーチャー)、地域の人々が学校の授業に入って先生のお手伝いをする「SA」(スタディアドバイザー)、地域の人々が自分の趣味や特技を活かして選択クラブを指導する「きらめきボランティア」の3つに分けることができます。この取組のサポートをしているのが「夢育支援ネットワーク」です。ネットワークには同校の保護者や地域の人々がボランティアとして関わっています。



2年半で2000人が学校支援に参加

代表をされている島野浩二さんにお話を伺いました。島野さんは、武蔵野三鷹ケーブルテレビの役員をしていらっしゃいます。開局以来地域に開かれた企業を目指し、三鷹や武蔵野にある学校への取材や学校から会社訪問や職場体験を受けるなかで、地域の学校との密接な関わりを持っていました。そうした中で、同校の要請を受けてここ2年半、様々な形で地域との学校との連携融合をめざし実践を重ねてきました。昨年度は、年間のべ2,000人の地域の方々が学校支援活動に参加しています。

変わる、地域も変わる」という実感を学校も地域も行政も確信にしながら、「三鷹から次の社会を支える人材を送り出した」と夢を膨らませます。

「夢育支援ネットワーク」は、こうした取組をより本格的に、そして継続的に行っていくために、12月16日、NPO(特定非営利活動法人)として新しいスタートを切りました

夢育支援ネットワークのホームページアドレス

<http://muiku.net/>

「子どもが変わる、大人が変わる、地域も変わる」

平成14年度から導入された「総合的な学習の時間」をきっかけに取組が本格化しました。島野さんは「これまで地域の人々がこのように学校教育に関わることができるなんて考えもしなかった。地域の子どもは地域で育てるんだ、と考えている人は意外に多い。取組を重ねる中で、地域の子どもたちは地域で育てたい、という思いに火がついて多くの人々がこの取組に参加するようになった」と話します。また、こうした取組を通じて保護者や地域の人々が互いに知り合い結びつくことによって学校を仲立ちにした新しい地域のコミュニティが生まれつつあります。島野さんは、「子どもが変わる、大人が



SA(スタディアドバイザー)に登録している地域の人や先生、関心のある方の懇談会。70名が参加した。(平成15年9月、三鷹市立第四小学校で)

「第2回教育フォーラム」開催のお知らせ

東京都教育庁生涯学習スポーツ部では、学校と地域が連携し、「総合的な学習の時間」をはじめとする学校教育活動において、子どもたちに豊かな学びの場や機会を提供するために、どのように効果的に連携を進めていったら良いのかを、学校関係者と学校支援団体(企業・NPO団体等)が一堂に会して話し合いや交流をすることを目的に「教育フォーラム」(今年度2回目)を開催します。今回の「教育フォーラム」は、学校支援を行う団体のネットワークづくりに向けた取組として実施します。

- 日時▶ 平成16年3月29日(月) 午後1時30分～午後5時
- 会場▶ 東京都立工芸高等学校(文京区本郷1-3-9) JR・都営三田線 水戸橋駅 徒歩1分
- 内容▶ ・学校と地域が連携した特色ある教育実践事例の発表、  
・学校支援ネットワークづくりに向けた意見交換・交流 など
- 対象▶ 学校支援団体関係者及び学校支援に関心のある方 など

【問い合わせ先】 東京都教育庁生涯学習スポーツ部計画課 電話 03-5320-6853